

おめでとう 宮前区 40 周年！ 区とともに歩んできた「宮前区まちづくり協議会」

高津区から分区分宮前区が誕生したのは 1982 年 7 月、世の中は高度成長時代の真っただ中。渋谷まで 15 分の「川崎都民」という名前と呼ばれているほど、都内通勤者の多い街でした。宮前区誕生の 40 年前「町内会連合会」や区民の声を反映するために「区民懇話会」などがありましたが、1994 年「宮前区区づくりプラン策定委員会」が誕生し、多くの市民が 3 年間議論を重ねて「区づくりプラン」を完成。このプランを実行に移すため 1997 年「宮前区区づくりプラン推進委員会」が発足し、2005 年「宮前区まちづくり協議会」と名前が変わり区と手を携えてまちづくり活動をしてきました。

例えば、「宮前スポーツセンター」建設に際し、地域住民からのゆりかご通りでの交通量増加による事故の心配に対し「ゆりかご通りまちづくり協議会」を設立、問題点の洗い出しや道路への目立

つ表示など問題解決の提案を行いました。また川崎市の「都市計画マスタープラン区民提案検討委員会」や、「アリーノ」建設にむけての「有馬野川市民館分館づくり推進協議会」に参画しアイデアを出したり、使いやすく利用でき運営も区民に任せる「区民活動支援コーナー」の開設などに、市民の目線を持って参画してきました。その他にも虎の門病院への交通手段として虎の門病院・宮前平駅間の東急バス協力による新路線の開通「虹バス」誕生など数々の提案を行い実現してきました。

またこれらの活動から派生した区民活動も数多く誕生しました。

40 年の節目を迎えさらに発展していく宮前区とともに、これからもまちづくり協議会は市民協働のまちづくり活動を続けて行きます。



「写真とメッセージで宮前区のいいところ撮り！」 第17回フォトコンテスト作品募集 締め切せまる！

今年も第 17 回フォトコンテストとして「写真とメッセージで宮前区のいいところ撮り！」をテーマに、宮前区内の魅力ある場所や景観、まちづくり活動を撮影した写真を募集します。

募集期間：令和 4 年 6 月 1 日（水）から 7 月 29 日（金）まで
応募作品数：1 人（1 団体）につき 2 点まで
撮影対象：宮前区内の「魅力ある風景」「まちづくり活動」「地域課題に関する風景」
応募方法：詳細についてはまちづくり協議会 HP またはチラシをご覧ください。
主催：宮前区まちづくり協議会、宮前区
問合せ：区役所地域振興課 電話：856-3125

宮前区は今年で区制 40 周年。これを記念し、入賞者には賞状のほか副賞を贈呈します。また応募全作品を市民館ギャラリーに展示します。「わたしの好きな宮前区」をコンセプトにした写真の応募をお待ちします。
応募〆切が例年より早くなっていますのでご注意ください！



まちづくり広場へのご意見・ご感想はこちらまで

(事務局)宮前区役所地域振興課
電話 856-3125
F A X 856-3280
E-MAIL 69tisin@city.kawasaki.jp
HP アドレス <https://www.miyamae-machikyo.com>

【 編集後記 】 コンピュータゲームを用いる e スポーツに、関心のある方が集まりグループが出来ました。e スポーツ (esports) は、コンピュータゲームをスポーツ競技として捉える際の名称で、エレクトロニック・スポーツ (electronic sports) の略称です。パズルゲームや音楽ゲームなどの体験・対戦が脳の活性化になり、高齢者の認知機能の維持や向上に役立つことができるそうです。ほとんどの方はまだ「e スポーツ」を知りませんが、新たなものに挑戦する仲間が出来たことはとても楽しみです。(K. E.)



区民がつくる まちづくり広場

編集・発行 宮前区まちづくり協議会

No.289
2022.7

宮前区の魅力を写真で紹介しよう！ フォトコンテスト部会

「えっ！こんなにステキな景色があったの？場所はどこ？行ってみたい！」この美しい景色を残していくには、私たちに何ができるの？」

里山や河川の自然環境、今も残る田畑、あまり知られていない伝統行事など、宮前区のような魅力や活発な市民活動の様子などを写真とメッセージで区民に紹介したいと、宮前区まちづくり協議会は「見つけよう、美しい宮前区」フォトコンテストを平成 18 年度から始めました。今の宮前区を知ること、宮前区の未来まで想いを寄せてもらえば、これほどうれしいことはありません。

このコンテストでは、一般の写真コンテストと違い、撮影技術を問いません。撮影者がシャッターを切った想いを写真とメッセージでどう表現しているかを評価します。撮影対象が宮前区内であれば誰もが応募できます。そして市民館ギャラリーにて全応募作品を展示します。



展示会風景



審査委員長講評

テーマは美しいものに限らず、地域の社会課題を取り上げて良いのです。今どきの SNS のようなアート写真よりむしろ報道写真のイメージです。様々な市民活動も含め、今の宮前区の資源を記録し、評価し、次の世代へつないでいく大切な資料にもなります。10 年の節目には「フォトコンテスト 10 周年記念入賞作品集」も発行しました。過去の作品を振り返ると、宮前区の時代の流れを感じることができます。

審査委員長には宮前区在住の写真家を迎え、宮前区文化協会会長、宮前区観光協会会長、川崎市公園緑地協会理事長、宮前区長、まちづくり協議会委員長、まちづくり協議会委員数名で構成される審査会により厳正に審査が行われます。

6 月から第 17 回目の作品募集を開始しています（4 面参照）。あなたの気持ちがこもったワンカットをお待ちします。

今月号の主な内容

- 1 面 ・特集：宮前区の魅力を写真で紹介しよう「フォトコンテスト部会」
- 2 面 ・特集：フォトコンテストに見る宮前区の魅力
- 3 面 ・特集：フォトコンテストに見る宮前区の魅力
- 4 面 ・おめでとう宮前区 40 周年 ・第 17 回フォトコンテスト作品募集



次回予告

情報支援部会を特集します。

フォトコンテストに見る宮前区の魅力

宮前区は都心から近距離でありながら、田畑、森林、河川など自然に恵まれており、また市内で唯一の県立公園「東高根森林公園」があります。区民の憩いの場になっており、撮影スポットとして人気の公園です。“区の木”である桜以外にも四

季折々の花のスポットが多くあります。一方、自然の中に新興住宅があり、“トカイナカ”的な光景が多く見られます。近年、生産緑地が住宅地に変わってきていますが、これも時代の流れでしょうか！



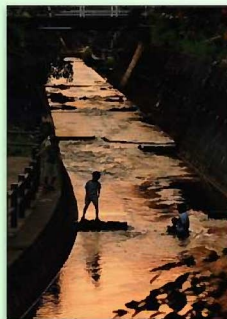
街中のお花畑
(馬絹6丁目から宮崎付近)



住宅街の秋
(菅生1丁目)



ここはこのままでいられるでしょうか？(野川神明社隣地)



夕日の水遊び
(初山1丁目平瀬川)



イチョウとあそぶ
(菅生緑地)



雪の朝
(宮前平グリーンハイツ)



朝もやの森林公園
(東高根森林公園)



プールの中の夕焼け
(けやき平グリーンハイツ)



大収穫
(水沢の森)



光のカーテン
(菅生神社)



笑顔・笑顔・笑顔
(土橋1丁目・土橋神社)



春の影向寺
(影向寺)



秋の遠足
(東高根森林公園)



氏神様に祈る
(野川神明社)



田植え体験
(東高根森林公園)



大きくなって戻ってこいよ
(平瀬川蔵敷親水広場)

宮前区内には多くの神社仏閣があります。川崎市内で最古の「影向寺」、つつじで有名な「等覚院」などがあります。伝統芸能をはじめ秋祭り、節分祭、どんど焼きなど、それらの神社仏閣で季節により行事が行われ、多くの区民が楽しみにしてい

ます。また地域の住民による行事や活動も盛んで、さくら祭り、夏祭り、収穫祭、花壇整備など自治体と一緒にまちを盛り上げています。子どもの参加も多く、将来頼もしい限りです。